

第54回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの人は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第54回「あいおの会」

平成29年2月5日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、失語症患者様7名とご家族様・施設スタッフ様3名、言語聴覚士5名が参加し、15名の方々が集まりました。天気が生憎の雨でしたが、皆様お集まり下さりありがとうございました。

今回は、「ビンゴ」を行いました。自分で作ったビンゴカードでゲームをするのは楽しいですね。すぐにビンゴになる方や、リーチはたくさんあるのにビンゴにならない方などいらっしゃり、それもまた楽しかったです。「ビンゴ」の後には、今年度の会の反省会や、今後、会の中でやってみたいことなどを話し合いました。「遠足に行きたい」や「失語症について知りたい」、「自主訓練について知りたい」などの意見があがりましたね。来年度、より良い会となるために、一緒に色々と考えていきましょう。貴重なご意見をありがとうございました。

最後には、「雪」を歌いました♪熱海では無縁の雪ですが、まだまだ寒い日が続きますので、ご自愛くださいませ。次回も、たくさんの方がご参加されることを楽しみにしています。

次回は、**平成29年4月30日(日)13時**から予定しております。詳細については、別にご連絡をさせていただきますので、宜しくお願い致します。



真剣にビンゴカードを作り中・・・



皆さんとゆっくりお話ができました♪